



Yokohama Arts Foundation

記者発表資料

令和5年1月24日
(公財)横浜市芸術文化振興財団
横浜市民ギャラリー

—アーティストが出会った風景を、街歩きのようにめぐる展覧会—
横浜市民ギャラリーコレクション展 2023
描きたい風景



三橋兄弟治《教会の見える風景》1939年 水彩、紙 74.0×57.0cm

横浜市民ギャラリーの約1,300点の所蔵作品は、1964年の開館以来、企画展や国際展等の機に収蔵されたものです。本年は「描きたい風景」と題し、横浜を中心に国内から国外まで、実際の風景をもとに描かれた作品にスポットを当てます。

アーティストはどのような風景に心を惹かれ、創作意欲を掻き立てられたのでしょうか。3つのセクション—「描きたい『横浜』—山下・山手エリア」「スケッチで描く街」「旅人のまなざし」により、横浜らしさあふれる風景や日常の街角、異国の旅先で出会った景色を描いた油彩、水彩・素描、版画などをご紹介します。アーティストと視点を共にしながら、散歩や旅を楽しむようにお楽しみください。あわせて、横浜を描いた日本画家・宮本昌雄の特集展示を行うほか、クラウドファンディングのご寄附により修復が実現した作品2点を修復後初披露します。

【展覧会概要】

展覧会名：横浜市民ギャラリーコレクション展 2023 描きたい風景

会 期：2023年2月24日（金）～3月12日（日）10:00～18:00（入場は17:30まで）入場無料

会 場：横浜市民ギャラリー（横浜市西区宮崎町26-1）展示室1、B1

出品作家：

相笠昌義、青木一美、安保健二、今関一馬、入江正巳、岩田栄之助、江見絹子、遠藤典太、岡野正樹、北岡数彦、北岡文雄、小山オサム、斉藤カオル、櫻庭彦治、柴田善登、島田四郎、志村計介、芹沢龍吉、添田定夫、田代利夫、田中岑、田辺謙輔、富岡克雄、中谷龍一、長谷川潔、秦克彦、馬場禰男、濱田嘉代、兵藤和男、三橋兄弟治、宮本昌雄、森秀男、山崎秀夫、吉川啓示

主 催：横浜市民ギャラリー（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団／西田装美株式会社 共同事業体）

※当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問い合わせ先 *本日は17:15まで在席しております。

横浜市民ギャラリー 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】

館長 森井健太郎 展覧会担当 河上祐子 TEL：045-315-2828

【本展の見どころ】

1. アーティストが出会った風景を、街歩きのようにめぐる展覧会

横浜にゆかりのあるアーティストの作品を中心に、さまざまな表情の横浜風景や、旅先で出会った世界各地の魅力あふれる風景など、実際の風景をもとに描かれた油彩、水彩・素描、版画、日本画を約50点紹介します。アーティストの「描きたい」思いを感じながら、みなさんご存じのスポットや初めて知る場所を、街歩きのようにお楽しみいただける展覧会です。

2. 特集展示 宮本昌雄 ー横浜を描いた画家

横浜生まれの日本画家・宮本昌雄を特集します。まとまった展示は久しぶりとなる、横浜・子安付近の工場風景をとらえた〈工場〉シリーズを中心に展覧します。

宮本昌雄（みやもと まさお 1917-2016）

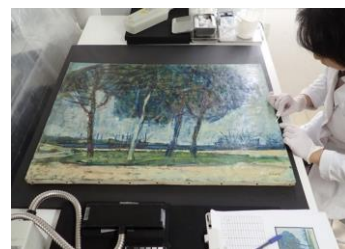
横浜市中区生まれ。中島清之（1899-1989）に師事。1935年第4回横浜美術展に初入選。横浜・子安の鉄鋼会社の工場に勤務しながら、院展を主な発表の場として、勤務地の工場地帯の風景や、住まい近くの山手の風景を描いた。



宮本昌雄《工場 71》1971年 紙本着彩、パネル
130.0×160.0cm

3. クラウドファンディングにより修復が実現した作品2点を修復後初披露

2022年春におこなった「クラウドファンディングによる横浜市民ギャラリー収蔵作品修復プロジェクト」のご寄附（総額1,710,000円）により作品2点（三橋兄弟治《教会の見える風景》1939年、柴田善登《山下公園の五月》1969年）の修復が実現しました。本展にて修復後初披露し、修復過程についてご報告します。



修復の様子

4. 会話を通してコレクションの魅力再発見！「おしゃべりステーション@コレクション展」

2017年から継続している鑑賞サポーター（ボランティア）による活動。本年は、展覧会をより一層楽しめる関連イベントとして、来場者が鑑賞サポーターと作品をめぐる会話を自由に楽しめるフリートークイベントを初開催。「見る」だけでなく「話す」ことを通して、作品鑑賞をより深めるきっかけをつくります。

5. 貴重な証言、出品作家のインタビュー映像上映

横浜市民ギャラリーでは主に企画展の機会に、出品作家のインタビューを収録してきました。今回は、版画と油絵を中心に、ありのままにとらえた人間のいる風景を描き続けてきた、相笠昌義氏のインタビュー映像（2022年収録）を会場とWEBで公開します。



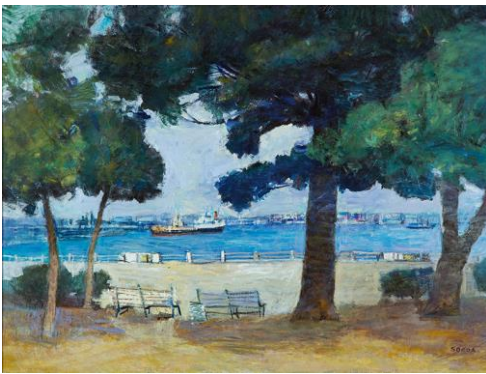
相笠昌義《山下公園の日曜日》1988年 エッチング、アクアチント 30.0×73.9 cm

※本インタビューは展覧会会期中に会場無料配布する小冊子に掲載します。

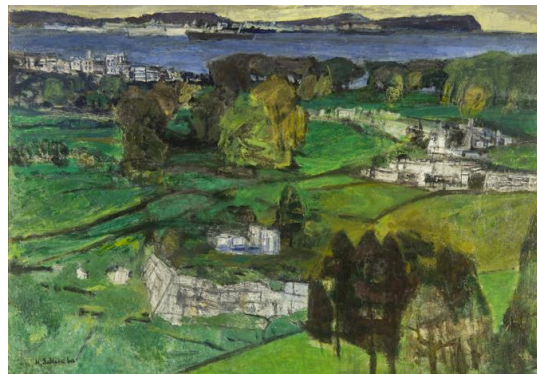
※これまでのインタビュー映像は横浜市民ギャラリーホームページで閲覧できます。

https://ycag.yafjp.org/our_exhibition_archive/interview-archive/

【作品画像】



添田定夫《春光の横浜港》1988年
油彩、キャンバス 97.2×130.2cm



櫻庭彦治《横浜・山手(外人墓地と港)》1963年
油彩、キャンバス 111.8×161.3cm



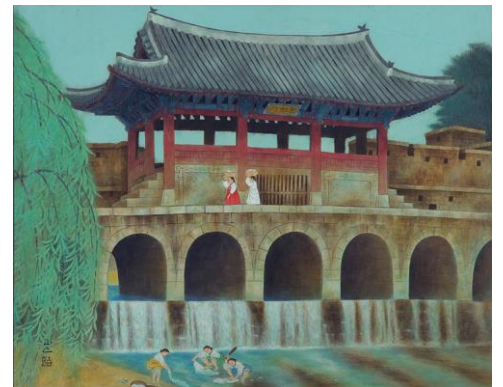
北岡文雄《朝やけのブルーモスク》
1990年 木版 56.7×41.7cm



山崎秀夫《くらやみ坂》1979年
鉛筆、水彩、紙 35.2×27.2cm



安保健二《漁船の棧橋(鶴見川下流・生麦)》1979年
鉛筆、水彩、紙 24.1×32.4cm



入江正巳《華虹門》1973年
紙本着彩 81.0×101.0cm

【関連イベント】

(1) おしゃべりステーション@コレクション展

2月26日(日)、3月4日(土) 各日 13:30~15:30

会場：1階展示室前スペース、展示室1・B1

参加無料、申込不要



「おしゃべりステーション@コレクション展」開催イメージ

(2) 学芸員によるギャラリートーク

3月4日(土) 11:00~11:30 参加無料、申込不要

会場：展示室1・B1

(3) ハマキッズ・アートクラブ

「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」

3月5日(日) 10:30~12:00

対象・定員：小学3~6年生・8名(抽選) 参加費：1,000円

※事前申込制(詳細は当館ホームページをご確認ください)



「横浜市民ギャラリーまるごと探検ツアー」開催イメージ

※新型コロナウイルス感染拡大状況等により、展覧会および関連イベントに変更が生じる場合があります。ご来場前に必ず当館ホームページまたは電話で最新情報をご確認ください。